

貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	432,701,750	流動負債	1,311,535,880
現金・預金	317,707,621	買掛金	3,860,716
未収運賃	1,974,810	短期借入金	200,000,000
未収金	82,853,885	未払金	872,091,231
商品及び貯蔵品	27,946,499	未払法人税等	3,148,900
仮払金	117,014	預り連絡運賃	215,250
その他の流動資産	2,101,921	預り金	7,940,694
		前受金	1,341,569
【固定資産】	1,106,545,537	前受運賃	482,120
鉄道事業固定資産	1,100,865,502	仮受金	222,455,400
有形固定資産	67,609,298		
土地	0	固定負債	80,127,474
建物・建物付属設備	14,364,110	退職給付引当金	80,127,474
構築物	20,557,187	負債合計	1,391,663,354
車両	15,485,404		
機械装置	10,426,372	(純資産の部)	
工具・器具・備品	6,776,225	株主資本	
運搬具	162,402	資本金	300,000,000
建設仮勘定	1,032,349,000		
一括償却資産	744,802	繰越利益剰余金	△ 151,613,858
無形固定資産	1,551,305		
投資等	4,128,730	純資産合計	148,386,142
投資その他の資産	4,128,730		
【繰延資産】	802,209		
資産合計	1,540,049,496	負債・純資産合計	1,540,049,496

損 益 計 算 書

(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額	金 額
鉄 道 事 業		
営 業 収 益	134,251,464	
営 業 費	441,005,565	
鉄道事業営業損失		△ 306,754,101
関 連 事 業		
営 業 収 益	115,275,695	
営 業 費	22,021,730	
関連事業営業利益		93,253,965
全事業営業損失		△ 213,500,136
固 定 資 産 税		9,325,900
全事業営業損失総計		△ 222,826,036
営 業 外 収 益		
受取利息及び配当金	60,516	
その他の収益	1,670,240	
雑収入	51,738,406	
営業外収益合計		53,469,162
営 業 外 費 用		
雑損失	124,278	
営業外費用合計		124,278
経 常 収 益 計		302,996,321
経 常 支 出 計		472,477,473
経 常 損 失		△ 169,481,152
特 別 利 益		
設備維持補助金	112,287,546	
三陸鉄道運営費補助金	16,101,936	
安全輸送整備事業費補助金	53,130,518	
三陸鉄道駅舎活用事業補助金	3,500,000	
固定資産売却益	141,331	
特別利益合計		185,161,331
特 別 損 失		
固定資産圧縮損	54,499,998	
固定資産廃棄損等	85,213	
災 害 損 失	4,663,703	
その他の特別損失	0	
特別損失合計		59,248,914
税 引 前 当 期 純 利 益		△ 43,568,735
法人税、住民税及び事業税		2,064,800
当 期 純 利 益		△ 45,633,535

損益計算書の要旨

(税抜/単位:千円)

収 入					支 出						
科 目	22年度実績	23年度計画	23年度実績	増減分析等	科 目	22年度実績	23年度計画	23年度実績	増減分析等		
経常収益	定期運賃	92,698	42,000	36,475	一部運行と災害による利用者の減	経常費用	人件費	327,426	288,090	284,313	一部正社員4名及び臨時職員の退職1GR出向4名による削減
	定期外運賃	164,456	46,200	55,274	一部運行と災害による利用者の減但しJRとの大人の休日倶楽部実績あり		修繕費	85,214	61,700	64,702	車両修繕費・軌道保守・蓋石駅改修工事
	地元団体	16,062	0	1,273	一部運行により催行減、下期に一部催行		動力費(燃料他)	48,345	14,900	9,407	一部区間運行による減
	観光団体	49,318	0	4,696	上期受入整備不可で催行受入できず、下期に運行路線で催行開始		受託業務経費	10,394	4,000	8,834	新規受託業務の増によるもの
	(運輸収入計)	322,534	88,200	97,718	対前年▲69.7% ▲224,816千円減		その他経費	80,115	49,000	80,968	車両移送・代替バス経費、知デジ列車ラッピング経費等発生 社有車・PCのリース料増
	運輸雑収	38,008	12,000	36,533	震災により車両使用料・土地物件賃付料大幅減収、支援等による回数券の購入、ヘッドマーク等の広告料の収入増		固定資産税等	30,717	30,200	24,129	固定資産税減免▲9,587千円 復旧工事契約等の印紙税730千円の増
	旅行業	11,247	8,000	18,607	5月以降のフロントラインの催行好調、修学旅行6校実施		営業外費用	162	0	124	
	物販業	13,782	15,000	58,175	全国の鉄道会社によるグッズ商品の販売協力、きつと芽がでる煎餅、被災レールの販売好調		経常費用計(b)	582,373	447,890	472,477	対前年▲18.8% 109,896千円の減
	受託料収入他	40,009	39,030	38,494	三陸鉄道利用促進事業 被災地観光資源調査事業 観光プロモーション受入体制整備事業		固定資産圧縮損	350,201	57,000	54,499	安全輸送整備事業・駅舎活用事業
	営業外収入	6,843	2,000	53,469	寮・社宅使用料、工事立会手数料、義援金		固定資産廃棄損	423	0	85	社有車・PC等リースに切替による廃棄及び蓋石駅改修による一部除却
経常収益計(a)	432,423	164,230	302,996	対前年▲29.9% 129,427千円の減	災害損失他	12,359	3,990	4,664	震災後処理に伴う互換処理、定期券払戻等の発生		
特別利益	前年度経常損失補助金 設備維持補助金	147,988	122,987	128,389	三陸鉄道運営費補助金 (設備維持補助金・車両移送・バス代行補助)	特別損失計	362,983	60,990	59,248	対前年▲83.6% 303,735千円の減	
	その他補助金等	350,201	57,000	56,772	安全輸送整備事業費補助金・駅舎活用事業補助金・社有車売却益	法人税等	2,314	2,314	2,065		
	特別利益計	498,189	179,987	185,161	対前年▲62.8% 313,028千円の減	当期支出合計(B)	947,670	511,194	533,790		
当期収入合計(A)	930,612	344,217	488,157		経常損失(a)-(b)	△149,950	△283,660	△169,481	対前年19,532千円の損失増 対計画114,179千円の損失減		
					当期利益(A)-(B)	△17,058	△166,977	△45,633	対前年 ▲28,575千円増		

株主資本等変動計算書

自 平成23年 4月 1日
至 平成24年 3月 31日

(単位:円)

	株 主 資 本				純資産合計
	資 本 金	利益剰余金		株主資本合計	
		その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
		繰越利益剰余金			
平成23年4月1日残高	300,000,000	△ 105,980,323	△ 105,980,323	194,019,677	194,019,677
事業年度中の変動額	0	0	0	0	0
当期純利益	0	△ 45,633,535	△ 45,633,535	△ 45,633,535	△ 45,633,535
事業年度中の変動額合計	0	△ 45,633,535	△ 45,633,535	△ 45,633,535	△ 45,633,535
平成24年3月31日残高	300,000,000	△ 151,613,858	△ 151,613,858	148,386,142	148,386,142

個別注記表

平成 23年 4月 1日 から
平成 24年 3月 31日 まで

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品及び貯蔵品は、最終仕入原価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定額法を採用しています。

無形固定資産

定額法を採用しています。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

補助金の会計処理

車両の老朽化対策に伴う改修工事を行うにあたり、鉄道安全輸送整備事業補助として、国土交通省と岩手県並びに沿線市町村から補助金を受けています。また、釜石駅の改修工事を行うにあたり、釜石市より三陸鉄道駅舎活用事業補助として補助金を受けています。これらの補助金事業は、当該固定資産の取得価格から直接減額して計上しています。

II. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 340, 141, 370 円

(2) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税抜経理方式を採用しています。

III. 損益計算書に関する注記

(1) 鉄道事業営業収益の内訳は次のとおりです。

旅客運輸収入	97, 718, 626	円
運輸雑収入	36, 532, 838	円
計	134, 251, 464	円

(2) 鉄道事業営業費の内訳は次のとおりです。

運送費	367,885,299 円
案内宣伝費	919,526 円
厚生福利施設費	6,590,000 円
一般管理費	51,124,095 円
付加価値割・資本割事業税	2,064,800 円
諸税	10,873,582 円
減価償却費	12,938,963 円
計	452,396,265 円

(3) 関連事業の取扱額及び収益額は次のとおりです。

旅行業収益	18,607,344 円
(取扱額 76,342,570 円 - 旅行諸費用 57,735,226 円)	
物販業収益	58,174,871 円
(売上高 100,740,465 円 - 売上原価 42,565,594 円)	
その他の	38,493,480 円
計	115,275,695 円

(4) 国、岩手県及び沿線市町村等から次の支援を受けています。

① 安全輸送整備事業費補助金及び会社負担設備投資額補助金
53,130,518 円

② 三陸鉄道運営費補助（設備維持補助金）
平成 21 年 11 月国土交通大臣の認定による「鉄道事業再構築事業」に基づき整備保有に係る経費を岩手県及び沿線市町村より支援を受けました。
112,287,546 円

③ 三陸鉄道駅舎活用事業費補助
釜石駅舎活用対応として、釜石市より改修工事費の支援を受けました。
3,500,000 円

④ 三陸鉄道運営費補助（車両緊急輸送事業費補助）
震災後宮古～小本間の運行の車両確保として、久慈から宮古まで車両 2 台の車両緊急輸送費を岩手県より支援を受けました。
8,010,000 円

⑤ 三陸鉄道運営費補助金（三陸鉄道震災代替バス運行事業）
震災後運休区間において、代替バスを運行したことにより生じた決損額

を岩手県より支援を受けました。

8,091,936 円

⑥ トンネル・橋梁の無償借受

固定資産税の軽減を図るためトンネル・橋梁を沿線市町村に寄附し、当該資産を無償で借り受けています。

なお、管理は三陸鉄道が行っています。

⑦ 鉄道用地の無償借受

鉄道用地を沿線市町村より、当該資産を無償で借り受けています。

なお、管理は三陸鉄道が行っています。

⑧ 岩手県三陸鉄道強化促進協議会からの支援

震災後地元利用の維持・促進を図るため4月は罹災証明書提示利用者に対して運賃の全額補助及び「3人から半額きっぷ」は11月より、さらに貸切列車の利用促進のため地元利用者及び旅行代理店扱いについて支援を受けました。誘客支援事業として観光団体向けの「こたつ列車」での観光ガイドの派遣の支援を受けました。

Ⅲ. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

発行済株式

普通株式（発行済株式）前期末株式数（発行済普通株式） 30,000株

当期末株式数（発行済普通株式） 30,000株

Ⅳ. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 4,946円

(2) 1株あたりの当期純利益金額又は当期純損失金額 ▲1,521円